

【第17回 佐賀県豚熱対策本部会議】 9月8日10:40

農林水産部長／2例目の農場の殺処分が、本日10時20分に終了した。飼養規模は1万364頭、防疫措置の開始が8月31日20時。患畜決定から、182時間20分、日数では7日半。

多くの関係者のご支援で、スムーズに殺処分が終了した。昨夜は、1時間あたり100頭以上処理できた時間帯もあった。

現在は、埋却作業中。今後は、汚染物品の処理や農場内の消毒作業が続く。

この資料は、1例目と2例目の防疫措置の対応を時系列で整理したもの。

1例目は、8月30日20時に患畜確定。殺処分完了まで23時間半、防疫措置すべての完了が67時間。

2例目は、8月31日20時に患畜が確定、殺処分を開始。本日10時20分に1万364頭の殺処分が終了。埋却処分、汚染物品の処理や農場内の消毒のすべてが終了すれば、防疫措置が完了する。

本日10時の作業員数は、合計245名。初回からの延べ人数は7,000名を超えた。

ご協力いただいた関係機関の作業内容を説明する。

- ・自衛隊は200人体制で、2例目の殺処分の作業。
- ・佐賀県建設業協会、唐津防災対策協議会は、発生農場での埋却作業及び消毒ポイントでの消毒作業、現地対策本部やサポートセンターの運営支援。
- ・JAグループ佐賀は、動員者の輸送、特殊免許が必要なフォークリフト等のオペレーター派遣、資材運搬。
- ・佐賀県バス・タクシー協会は、動員者拠点の佐賀市農業試験研究センターからサポートセンターまでのバスの手配。
タクシーは、他県から応援に来られた獣医師の送迎等。
- ・佐賀県トラック協会は、防疫資材の輸送。
- ・佐賀県森林組合連合会は、埋却作業に必要なキャリー機械のオペレーター業務。
- ・ほっともっと、JAグループ佐賀、セブンイレブンは、食料の提供（時間外にも）。
- ・県警は、消毒ポイントを中心に警戒。
- ・唐津市は、現地対策本部、サポートセンターの運営支援、発生農場での殺処分作業の支援。
- ・国は、発生直後にリエゾンの派遣。殺処分の支援やサポートセンター運営の支援。

殺処分作業は、各班に獣医師を配置するため、他県から多数の獣医師の応援をいただいた。35都道府県から62名、肥料や農薬の国の検査機関であるFAMIC、動物検疫所、

総勢 69 名。

農林水産部副部長／深夜 2 時からの要員の尽力で、順調に作業が進んだ。本日の作業は、埋却の処理、ふん取り、餌だし等にシフトする。その後、農場の消毒作業。今後も手間のかかる手作業が続く。建設業協会の皆さんの作業も続くため、引き続きご協力をお願いしたい。今日も暑くなる予報。安全第一で進めたい。

健康福祉部長／昨日午前中に、頭痛、目まいを訴える体調不良者が 1 名。午後は、気温が上がり作業を中断したため体調不良者はいない。

今朝、簡易トイレに行く途中で転倒し、こめかみを殴打した方が 1 名。いずれも軽症。作業は続くため、保健師を中心に作業員の支援をする。

県土整備部長／消毒ポイントでは、昨日 0 時～24 時間で、消毒車両が 116 台。本日は競りの影響で、9 時現在 86 台。昨日に比べ 3 倍。体制を強化していたため、支障なく作業できた。消毒ポイントは、作業後 1 か月ほど継続する。

総務部長／現地対策本部やサポートセンター、作業現場に職員を配置した。現場対応は、飲料や食料の提供の側面から行った。

お弁当 3,000 食、おにぎり 4,100 個、パン 3,300 個、栄養補助食品、塩タブレット、飲料などを提供した。現場では、一息つけてありがたかった、と感謝の声をもらった。

途中から意識したことは、熱中症の予防対策や作業率の向上。2 例目の現場では、作業現場にスポットクーラーを 18 台設置した。これは農林水産部との連携で考えたもの。冷蔵庫の設置や冷却パッドを用意。冷蔵トラックで休めるように工夫もした。

他県の獣医師から、佐賀県の取組は途中から非常にブラッシュアップされ、洗練された対応だったと褒めていただいた。

防疫措置はしばらく続くため、総務部として体制を整えサポートしていく。

警察本部／消毒ポイントを中心に、警戒活動を行ってきた。消毒ポイントは、今後 1 か月ほど継続するため、引き続きパトロール等警戒を行う。

防災監／本日の 10 時 20 分、2 例目発生農場の殺処分を完了した。

自衛隊、佐賀県建設業協会、唐津防災対策協議会、JA グループ佐賀、佐賀県バス・タクシー協会、佐賀県トラック協会、佐賀県森林組合連合会、ほっともっと、セブンイレブン、県警、唐津市、国、他県からの獣医師の派遣、多くの皆様のお陰で一つの節目を迎えられた。改めて、心より感謝申し上げます。ありがとうございます。

今後は、最終的な消毒、埋却等の最終フェーズの作業に入る。引き続きご協力をいただき関係者の皆様には、もうしばらくご苦勞をおかけします。

改めて、養豚農家の皆様には、消毒の徹底をお願いする。もし、異変があれば、速やかに県へ連絡をしてほしい。